

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	小学校理科教育設備整備事業			
予算科目	10 款 2 項 2 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	733
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	皆川 竜男
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 21 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内小学校			
根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱			
事業の目的	理科・算数に関する教育を実施するために必要な設備の整備を行い、同教育の振興に貢献する。			
事業の内容	要望に基づき、必要と認められる理科・算数の教材を適切に購入し提供する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,996	932	529	922
	人件費	81	79	39	79
	合計	0	1,011	568	1,001
人件費 内訳	人工数	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	81	79	39	79
財源内訳	国庫支出金	944	466	0	461
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,133	545	568	540

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
購入経費	千円	1996	932	529	922

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	300	300	300	300	0	1,200

成果指標				
成果指標	累積購入経費／基準経費×100			
指標設定の考え方	各学校において定められた基準経費への到達を目指す。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	100%	0
実績	38%	40%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業は、小学校における理科及び算数の学力向上にむけた備品の整備事業であり、国庫補助事業である。本事業を有効に活用することにより計画的な備品整備を実施していくべきである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	国庫補助事業本事業を活用することにより、小学校の理科及び算数の備品を整備することができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題